日時・場所　1月13日　立花中学校2-4教室

実施学級・人数　2年4組　40名

授業者名　地理学科３年　5121076　大窪悠斗

「理科学習指導案」

１　単元名「日本の天気の特徴」

２　単元の目標

　天気図や気象衛星画像などを資料として，日本の天気の特徴を気団と関連付けて理解させるとともに，日本の気象を日本付近の大気の動きや海洋の影響に関連付けて理解させる。

３　単元設定の理由

1. 生徒観

本校の生徒の半数以上は理科を面白いと思っていない。また、実験をしても考察を書くのが苦手な生徒もいる。したがって、考察を書く指導を行なったり、生徒の様子を見ながら授業をしたりする必要がある。また、本校では生徒に1人1台PCが普及されている。

1. 教材観

教科書に基づきつつ、ICTを用いて授業を進める。疾病や障がいのある生徒など、合理的配慮が必要な生徒については、オンデマンド教材や授業風景を映した同時双方向型授業などで適宜対応する。

1. 指導観

実験や実習を通して本単元の目標をクリアする。合理的配慮が必要な生徒には、例えば手先が不器用でPCの操作が苦手であることが考えられるため、教員が提示した地形図や実物の岩石を用いて観察してもらうことで目標をクリアする。合理的配慮の対象に当てはまっていなくても生徒本人や保護者等からの要求があった場合や、教員がついていけてないと判断した生徒には同様に対応する。

４　単元の指導計画　全7時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時 | 主な学習内容 | 評価の観点 | 記録 |
| 1 | 日本の天気の特徴についての講義 | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |
| 2 | 陸と海の温まり方の違いを調べる実験 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 3 | 高気圧、低気圧の移動の仕方を気象データから考察する実習 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 4 | 実習を基にした大気の動きについての講義 | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |
| 5 | 四季の天気の特徴を気象データから考察する実習 | レポート（態度、思考・判断・表現） | 〇 |
| 6 | 実習を基にした四季の天気の特徴についての講義 | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |
| 7 | 単元のおさらい | 授業後の小テスト（知識） | 〇 |

６　本時の学習指導（全７時間中5時間目）

1. 主題　「四季の天気の特徴を気象データから考察しよう」

(2)目標　四季の天気の特徴について、考察することができるようになる。

(3)指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 指導事項 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
| 導入10分 | 前回の復習  大気の動きについての説明  日々の生活で馴染み深い気象現象（例：台風、つゆ）を知っているか、またそれらがどのようなものか質問する。 | 大気の動きについて復習する。  教員の問いに答える。 | 生徒の様子を見ながら、理解度が低いと思われる箇所については詳しく説明する。 |
| 展開25分 | 問題提起：日本の四季の天気にはどのような特徴がある？  実習の説明  実習に使うツールの説明 | 実習を行う。 | 生徒の様子を見ながら、ついていけていないとみられる生徒には適宜ヒントを与える。 |
| まとめ10分 | レポートを提出するよう呼びかける。  終わってない場合は次回の授業までの課題となる。  次回の授業内容の予告 | 次回の授業までにレポートを提出する。  レポートの内容（態度、思考・判断・表現） | 生徒の様子を見ながら説明する。  質問があった場合は回答する。 |

７　教具、実験器具

　教科書、PC、録画用のカメラ

８　板書計画

授業資料のリンク：